北条トンテンカン帝国

講義中に出された下記の課題に対し、
230人の東工大生が真剣に考えて提出したなかから、
個性ゆたかな7つの作品を選んでお届けします。

課題

合戦でなく造営を国の柱に選んだがゆえに、忘れ去られた北条大帝国。そんな北条の国の〈誰か〉になったつもりで、講義内容を踏まえてお国自慢をしてみて下さい。

私は ＿＿＿＿＿＿ です。

いきなり
神様視点

F.U.さん

私は 神様 です。

我が国の北条は信仰心深く、神社を建て直してくれる。わざわざ上総から木材を伐ってきたり、資金をとってきてくれる。国の人々もみな再建に協力してくれて、実によい者たちだ。この戦国の世の中で、血ではなく汗を流して大きくなったこの国は私の自慢だ。少々力を貸してしまったよ。

安定成長
同じだね

S.M.さん

私は 早雲 です。

私がつくった国は積極的には戦をしない故に地味でも平和！として長続きもしたのだ。未来の日本は戦って敗れ、安定成長を目指しているようだが、まさに私の国ではないか。そんな時代に生まれていたら良い総理大臣になれたのになぁ。

じいはしかと
見ております

Y.M.さん

私は 老臣（じい） です。

氏綱殿は乱世の中にて治世を始めておられる。寺社の造営にて手間ひまをかけ上手く民草の意識をまとめながらも、その手間が道や港の整備にもつながる。敵を見据えながらも自国を整え、民の心をまとめる殿こそ賢君にて御座候。

大工さんは
大人気でした

H.O.さん

私は 大工 です。

うちのお国は政治システムだけではなく、インフラ整備にも力を入れてるんです！合戦という形で外に敵を想定して、中をまとめる方法ではなく、人々と向きあって国をまとめてるんです。人々の精神をまとめるシンボル作りも上手なんですよ。ただ地道な仕事なんで派手さはないんですけどね…でもこっちの方が本当は難しいんですよ。結果は5代も続いたから大事なことなのは明白ですね。

公共事業
のはしり

N.O.さん

私は 商人 です。

戦争というのは、本当に勝ち領土をぶんどらない限り金を生みません。ムダに国力を使うのみで、武田や上杉がそのいい例です。その点、うちの国では寺社を建てることで、雇用機会をふやし、金回りをよくするという、公共事業のはしりのような事をやっております。これで国は豊かになります。なによりすごいのはその資金も資材も全て他国が出しているという所です。身銭を切らず得だけとる。何ともうまい商売を思いついたもんです。

外国産鳥居

T.M.さん

私は 鶴岡八幡宮 近所の子供 です。

注：七五三は、まだあの時代一般的ではなかっただろうけど、
このシンプルな中に先週の甲斐との比較まで織り込んだところが秀逸でした。

七五三で鶴岡八幡宮に来るたびにリニューアルされてるなんてすごい！何しろこの鳥居の木は外国産（上総産）だって。この間父ちゃんと甲斐に旅したけど、その時に見た寺はおんぼろだったよ。

すごくね？

T.G.さん

私は しがない農民 です。

敢えて注：おなじみ(一部のかたに)文体でノリよく北条農民になりきっていただいたところが「歴史を体感する」という出題意図に沿っていると判断しました。

おれは鎌倉で農民やってるんだけど～。今このへん統治してる北条氏ってやつすごくね？他の国は農民とかみんなかり出されてるけど、ここは全然そんなことないし(^ω^)それなのに鶴岡を再建しちゃうじゃん？余裕ありすぎじゃね？まじここ平和なんだけどwww 北条氏すげー wwwwwwwww うはwww 最高 wwwwwwwww

…ごめんなさい。w